

令和6年度

農事功績表彰者名簿

令和6年11月14日

公益社団法人

大日本農会



## 目 次

	受章者数	頁
<b>農 事 功 勞 者</b>		
紫白綬有功章	4名	2
緑白綬有功章 (国内)		
北海道・東北地域	11名	6
関東地域	11名	9
北陸地域	5名	12
東海地域	3名	14
近畿地域	6名	15
中国四国地域	5名	17
九州・沖縄地域	9名	19
緑白綬有功章 (国外)	1名	22
緑白綬有功章 小計	51名	
計	55名	
<b>農 業 改 良 普 及 功 勞 者</b>		
緑白綬有功章 (国内)	4名	23
<b>農 業 技 術 開 発 功 勞 者</b>		
緑白綬有功章 (国内)	1名	24
名誉賞状 (グループ) (国内)	1団体	24
<b>本 会 功 勞 者</b>		
紫白綬有功章 (国内)	3名	25
紅白綬有功章 (国内)	1名	25
<b>令和6年度農事功績表彰者</b>	<b>65名</b>	
(内訳)		
紫白綬有功章	7名	
緑白綬有功章	56名	
紅白綬有功章	1名	
名誉賞状 (グループ)	1団体	

## 農 事 功 労 者

### 紫白綬有功章（国内） 4名

氏 名	住 所	経営の特徴	表 彰 事 由
くり た こう た ろう 栗田幸太郎 (70歳) 緑白綬有功章 平成24年度受章	山形県 真室川町	生産資材生産 販売・肉用牛 複合経営 (法人)	<p>1 肉用牛の高品質枝肉生産技術の確立と堆肥発酵促進資材の開発により、環境保全型農業の推進に貢献した。</p> <p>緑白綬有功章受章後も、堆肥発酵促進資材を利用した農法（「ワーコム農法」）の改良に努めるとともに、新たな資材開発にも取り組み、環境保全型農業に貢献している。</p> <p>鹿児島県喜界島では、サトウキビの搾汁後の「バガス」を用いたワーコム堆肥が利用され、更に、農地の荒廃等が課題となっているモンゴルにおいて、国際協力機構（JICA）の委託により、政府開発援助（ODA）を活用して、「ワーコム農法」による環境保全型農業の実証試験が行われている。同様の課題を抱えたタイ、ベトナム、フィリピン等への「ワーコム農法」の拡大にも取り組んでいる。</p> <p>2 全国指導農業士会会長として農業後継者の育成に尽力するとともに、県審議会等の委員としての活動を展開し、地域を越えた農業発展に貢献した。</p> <p>緑白綬有功章受章後も、農業実践道場「拓土塾」塾長として運営を続け、全国、海外からの研修生を広く受け入れ、自身のほか大学講師や先進農家を講師に招き、栽培から6次産業化、商品開発まで、幅広く農業者育成事業を展開している。</p> <p>令和3年からは「農業病院」のサービスを開始し、農業者の土壌・作物分析、生育観察を行い、データに基づく管理手法を提供して栽培の適正化をサポートしている。</p> <p>「ワーコム全国大会」は山形県のほか、岩手県、宮城県、三重県などで、これまでに6回開催しており、環境保全型農業の推進、農業者の交流に貢献している。</p> <p>大日本農会山形支会会長を令和2年から令和5年までの4年間務め、令和4年から2年間、大日本農会理事を務め、会の運営に貢献している。</p>

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
やまざきせいし <b>山崎 正志</b> (74歳) 緑白綬有功章 平成26年度受章	茨城県 坂東市	水稲（主食用米・輸出米） 専作経営 （法人）	<p>1 借地と機械化による規模拡大を図るとともに、特別栽培米やJAS有機認証米の生産と直販、もち加工、海外での米販売など先駆的な取組みによる大規模法人経営を実践した。</p> <p>緑白綬有功章受章前から取り組んでいた米国NYへの有機栽培米の輸出は、受章後には一般米に拡大し、高単価で取引されているほか、生産した酒米で醸造された日本酒の輸出が継続されている。（米の輸出量は、受章後28倍に増加）</p> <p>令和4年、いばらきオーガニック生産拡大加速化事業を活用して自動抑草ロボット「アイガモロボ」を導入。これにより労働時間は約30%削減されることが明らかになり、有機栽培米の拡大に有効であることを示唆した。現在は、本機を活用した雑草抑制技術の確立に向けて、開発元農機メーカーや地元の農業改良普及センターとともに現地調査等を行い、有機栽培米の拡大に向けた技術開発に大きく貢献。本技術のポイントを広く周知するため現地検討会を開催し、普及に貢献した。</p> <p>2 県農業経営士として、担い手の確保・育成、地域農業の発展に尽力するとともに、県農業経営士協会会長、県農業法人協会会長として、県農業の発展に貢献した。</p> <p>緑白綬有功章受章後は、令和2年から農林水産省「スマート農業加速化実証プロジェクト」に参画し、環境にやさしいスマート農業技術の実証に取り組んだ。プロジェクトで得られた成果を広く普及するため、現地検討会の企画・開催（参加者は、国会議員を含め県内外から214人）する等成果の普及に主導的な役割を果たした。</p> <p>県産品の輸出拡大に向け、農林水産省「加工食品クラスター輸出緊急対策事業」を活用して輸出コンソーシアム「グローバルいばらき」を結成し、本会の会長として国内外への展示会の出展、プロモーション、共同での物流ルート構築など輸出拡大の課題解決に向けた活動にリーダーシップを発揮し、県産品の魅力を世界に発信している。</p>

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
いのまさこ <b>猪野 正子</b> (72歳) 緑白綬有功章 平成26年度受章	栃木県 真岡市	イチゴ・水稲 ・小麦作複合 経営 (法人)	<p>1 大型施設機械の導入等による土地利用型経営体の確立を基礎とし、家族経営協定を締結し、本人は主にイチゴを担当。新品種や単棟ハウス用ウォーターカーテンを先駆的に導入し、イチゴの品質向上と低コスト化を推進した。緑白綬有功章受章後は、希少なイチゴ品種の導入により、他の観光イチゴ園との差別化を図るほか、イチゴ果汁、冷凍イチゴ、シャーベット、イチゴバター等多様な製品を開発し、生産したイチゴを無駄なく活用している。販路の開拓にも積極的に取り組み、J A出荷に加え、自宅での直売や道の駅への出荷、ECサイトでの販売など多岐にわたっている。令和4年に法人化し、本人は副社長としてイチゴ部門等を担当している。同経営体は、地域で増加する耕作依頼の主要な引き受け手ともなっており、土地利用型部門と施設園芸(イチゴ)・加工分門を有し、構成員の責任が明確化され、更に担当間の業務調整が柔軟に行われている県内のモデル経営体となっている。</p> <p>2 イチゴの先進技術の導入・普及を推進し、県のイチゴ産地育成に貢献。県女性農業士会会長等を歴任し、地域の農業振興、農産物高付加価値化、農村女性組織活動、男女共同参画活動に貢献した。緑白綬有功章受章後も、J A栃木女性会会長、県農村女性会議会長、県女性活躍推進会議委員、市女性団体連絡協議会長等を歴任し、農村女性の地位向上に尽力し、大きく貢献。県農政審議会委員、県産業教育審議会委員等を歴任し、農政施策にとどまらず県政全般にも貢献。令和2年には、J A全国女性大会に合わせ、神奈川県J A女性会長との座談会を開催し、内容を全国に向けて発信。令和4年に設立した「株式会社雄」は、地元FM局に番組「いちご一会おげんきですか!」を持ち、自らがパーソナリティとして食や農業の魅力を発信する活動を実施。令和5年には「下野わくわく塾」を主宰し、食や農業・農村について共に学び意見交換できる場を創出している。</p>

氏 名	住 所	経営の特徴	表 彰 事 由
<small>なかばやし まさよし</small> 中林 正悦 (76歳) 緑白綬有功章 平成19年度受章	三重県 伊賀市	肉用牛（黒毛 和種）一貫経 営 （法人）	<p>1 伝統的な伊賀牛の飼養管理技術を向上させ、優良子牛生産地を結んだ和牛の繁殖と肥育の複合経営を確立した。</p> <p>緑白綬有功章受章後、平成25年から、「忍者和牛くノ一」としてシンガポールへの牛肉輸出を開始し、若手生産者の海外展開をけん引。平成22年、宮崎県で口蹄疫が発生し、農場の衛生管理の向上のために農場HACCPを導入することを決断し、平成26年、宮崎児湯支場は和牛繁殖農場として国内初の農場HACCP認証を取得。伊賀市の本社農場でも伊賀地域では初となる農場HACCP認証を取得。平成27年、繁殖牛の減少により和牛の頭数が低迷する中、肥育中の伊賀牛から採取・作製した体外受精卵を近隣農家の乳牛に移植するなど、和牛の頭数増加に貢献。令和4年度から、JRA事業を活用して、畜産部門における温室効果ガスの主要な排出源となっているメタン削減対策として、東京農業大学と連携してカシューナッツ殻液給与の実証試験を実施している。</p> <p>2 地域のリーダーとして伊賀牛の産地育成・銘柄化の推進及び内外の青年農業者の育成に貢献した。</p> <p>緑白綬有功章受章後は、伊賀市内の販売店と協働して「伊賀牛」の販売促進とPRに務め、平成24年には伊賀牛が三重ブランドの認定を受けることにつながった。受章前から行っていた、毎年2名の農業研修生の受入れ、中高生の職業体験・インターンシップの受入れのほか、三重県及び宮崎県において、JA営農指導員や普及指導員の研修等を継続して実施。平成19年から全国肉牛事業協同組合副理事長を務めた後、令和2年には理事長に就任し、素牛を担保とした預託事業による肉牛生産者の規模拡大支援のほか、輸出拡大や後継者育成等について国内外のあらゆる方面で支援策を画策する中心的役割を担ってきた。</p>

## 緑白綬有功章（国内） 50名

（北海道・東北地域 11名）

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
おう みもと き 近江 基輝 （70歳）	北海道 小平町	水稲・小麦・ 花き作複合経営 （法人）	1 水稲直播栽培技術の導入や高品質米・良食味米生産に積極的に取り組むとともに、花き施設園芸の導入による作業の平準化と高収益化を図り、地域の模範となる経営を実現。  2 普及職員を対象とした水稲直播に係る専門研修の講師を務めるとともに、地域の農業組織会長として良食味米生産の中心的役割を果たすなど、地域農業の発展に大きく貢献。
おさ ない しん いち 長内 伸一 （66歳）	北海道 壮瞥町	水稲・野菜・ 果樹作・加工 販売複合経営 （法人）	1 就農当時の小規模な水稲主体の経営を、規模拡大とリンゴ等の新規作物の導入、加工品の製造・販売など経営の多角化に取り組むことにより、大きく発展させるとともに経営安定を実現。  2 全道から農業研修生を受け入れるとともに、道指導農業士協会会長等を歴任し、担い手の育成に尽力。また、地域の新規就農者等の支援・受け入れ体制の構築に貢献。
ぬま はた しゅん いち 沼畑 俊一 （76歳）	青森県 南部町	果樹・野菜作 ・肉用鶏複合 経営 （法人）	1 ナシの新品種、オウトウの雨よけハウス、野菜の点滴灌水など新技術を地域で先導的に導入。宅配や直売所への出荷、加工品製造など多様な流通・販売により高収益農業経営を確立。  2 県なし振興協会会長、JAさくらんぼ部会長、地域農業士会長等を務め、地域の果樹等の産地形成に大きく貢献。視察や研修生を受け入れ、新規就農者や学生の指導に尽力。
いわ ぶち ひさ こ 岩渕 壽子 （74歳）	岩手県 奥州市	リンゴ専作経営	1 蜜入りセンサー等の先駆的な技術導入により作業効率を向上し、無袋ふじを中心に多様な品種をリレー販売。ジャムやゼリー等の加工品販売も行い、安定した果樹経営を実現。
いわ ぶち かつ じ 岩渕 勝治 （75歳）			2 学生や農業関係者の研修を継続的に受け入れ、担い手育成に尽力。壽子氏は県農業農村指導士協会副会長等により、勝治氏はJA江刺りんご部会支部長等により、農業農村の発展に貢献。



氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
ばば まさ ゆき 馬場 正行 (67歳)	岩手県 北上市	小ギク・カボ チャ・小麦作 複合経営 (法人)	1 機械化による小ギクの栽培管理や収穫作業の効率化により栽培面積を拡大。収穫期間の拡大やバケツ流通により収益を確保。作業のマニュアル化や作業工程を見直し、雇用環境を整備。  2 小ギクの新技術や作業効率化等について、研修や視察の受入れにより地域へ普及。認定農業者や農業農村指導士組織、JA部会の地域役員を務め、地域農業の発展や担い手育成に貢献。
ばば 馬場 みちえ (66歳)			
さいとう ゆう き 齋藤 勇紀 (72歳)	宮城県 亶理町	水稲専作経営	1 水管理システムや自動操舵トラクタ等のスマート農業技術による省力化・効率化、品種の早晩性を利用した労力分散を図り、大規模水稲専作経営を実現。  2 農業委員として26年にわたり農地の集積・集約、遊休農地の解消に貢献するとともに土地改良事業の役員としても活躍。津波被害後は自ら農地集積の受け皿となり、地域農業をけん引。
たむら せい いち 田村 誠市 (67歳)	秋田県 大仙市	水稲・大豆・ リンドウ作経 営 (法人)	1 機械共同利用組織の運営ノウハウを基に19戸54haで農事組合法人を設立。リンドウ長期出荷体系や減農薬栽培による「あきたecoらいす」の生産技術を確立し、生産を拡大。  2 視察の受入れや研修会等により農業者のレベルアップに貢献。食農教育や就農希望者に対する実践研修等により地域人材の育成に尽力。農業委員等として地域農業を振興。
ふじしま さく え 藤嶋 佐久榮 (80歳)	秋田県 北秋田市	施設・露地野 菜作経営 (法人)	1 海外技術を参考として、北海道産の株を冷蔵保管後に加温し萌芽させる革新技术を確立し、コゴミを通年出荷。モミジの葉をつまものとして生産し、初物産地として市場の地位を確立。  2 自社生産した農産物を使った加工品開発等、地域資源を活用した6次産業化に尽力。地域内の人材の積極的な雇用や新規就農者に対する技術や経営に関する研修により担い手確保に貢献。

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
おく やま よし お <b>奥山 喜男</b> (72歳)	山形県 河北町	水稲・大豆作 経営 (法人)	1 農地の集積・団地化を図るとともに、作期・作業配分を考慮した水稲と大豆の組合せや高性能機械やスマート農業の導入で、低コスト生産と安定した収量・品質を実現。  2 農用地利用改善組合を設立し、地域の農地集約に尽力。県育成品種の現地実証ほを担当し、栽培技術の普及や高品質化に貢献。県委嘱の「つや姫マイスター」としてブランド化にも尽力。
たか はし よし あき <b>高橋 良彰</b> (72歳)	山形県 遊佐町	水稲・野菜作 複合経営	1 耐病性台木の選定や管理しやすい整枝方法への改善によりパプリカの栽培方法を確立し、地域に普及。少量多品目の野菜の生産・販売により、水稲と野菜の複合経営を確立。  2 J A堆肥センターや畜産農家と連携し、地域一体での堆肥確保により、土づくりと地域循環型農業を推進。農業委員会会長として、サツマイモ栽培による遊休農地解消と周年農業を実現。
ね もと しゅう じ <b>根本 修二</b> (72歳)	福島県 南相馬市	花き（鉢物） 作経営 (法人)	1 シャコバサボテン・シクラメンの栽培技術を確立。震災後は省エネルギー化や環境制御・農薬防除の省力化を実践。運搬作業の機械化やセグウェイの活用等により大幅に作業労力を削減。  2 県鉢花生産者のリーダーとして、生産者の技術水準の向上に尽力。研修生を広く受け入れ、担い手育成に貢献。高品質シクラメンの受賞を契機に東日本大震災からの地域復興に尽力。

(関東地域 11名)

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
須澤 幸平 (76歳)	茨城県 銚田市	施設野菜専作 経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 暖房機付大型鉄骨ハウスを建設し、いち早くトマトの周年生産体制を確立。現在はミズナ等の葉物中心に周年生産体制を確立し、地域のモデルとなる大規模施設野菜経営体を実現。</li> <li>2 トマト栽培を導入するなど、地域の栽培品目の多角化、周年生産・販売体制を先導。JA役員を務め地域農業等の発展に寄与。県農業経営士として地域の担い手確保・育成等に貢献。</li> </ol>
大塚 幸八 (69歳)	栃木県 栃木市	バラ・水稲・ 大麦作複合経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 施設園芸（バラ）に積極的に取り組み、規模の拡大及び基本技術の着実な実行により、高品質、高収益を確立。選花作業の効率化、省力化を図るなどモデル的経営として地域をけん引。</li> <li>2 バラ専業での規模拡大から、担い手減少が進む中、米麦の栽培を再開し地域の農地の維持に貢献。節子氏は、農村女性の活躍に向けた農産加工や地域づくりに尽力。</li> </ol>
大塚 節子 (69歳)			
野澤 隆 (64歳)	栃木県 真岡市	施設イチゴ専 作経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 夜冷育苗やウォーターカーテン、天敵ダニ製剤によるハダニ防除等の新技術に取り組み、地域のイチゴ栽培技術向上に尽力。標高の低い平地での夏秋どりイチゴの技術確立と普及に貢献。</li> <li>2 地域資源としてのイチゴをPRし、町のイメージアップにつなげ、新規イチゴ栽培者の確保などを通じ、地域農業の発展に貢献。地域における農福連携の取組みを主導。</li> </ol>
小倉 文雄 (73歳)	群馬県 前橋市	鉢物・花苗作 経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 県内で初めてセル成型苗システムや底面給水装置導入により、花壇苗の量産化を実現。シクラメン・鉢物・花壇苗の組み合わせにより、労働時間の平準化を図り周年栽培を確立。</li> <li>2 文雄氏は花き生産者のリーダーとして県鉢物研究会を創設。県花壇苗生産安定協議会会長として花き振興に貢献。夫妻で研修生や農業青年に対して栽培技術指導等に尽力。</li> </ol>
小倉 あや枝 (73歳)			

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
うちの まさ お 内野 正雄 (81歳)	埼玉県 川島町	水稲・麦作経営 (法人)	1 一貫して規模拡大に取り組み、主穀作中心の大規模経営体を作り上げた。待遇改善などを重視して法人化を行うとともに、直播やほ場管理システムの導入等により作業効率の向上を実現。  2 遊休農地の発生を未然に防止して地域農業の維持に貢献。経営を第三者継承し将来にわたる地域農業の維持を目指す。各種地域活動を活性化して地域での大規模農業者の育成にも寄与。
すが さ わら よし お 菅 佐原 芳夫 (70歳)	千葉県 香取市	施設マッシュルーム専作経営 (法人)	1 黎明期から国産マッシュルーム生産に携わり、環境制御技術の導入等により安定出荷を実現。効率的な培地製造システムにより培地の完全国内産化を実現し、更に生産量を拡大。  2 県指導農業士として、視察や研修の受入れ等、後進の育成や地域農業の発展に寄与。障害者雇用にも取り組む他、被雇用者に多い女性が働きやすい労働環境を整備し、女性登用も実現。
なかの みね お 中野 峰雄 (72歳)	東京都 羽村市	施設・露地野菜作経営	1 露地野菜作経営に施設を導入し、出荷先を生協中心に転換。直売所の設立に対応した少量多品目栽培による経営を確立。減化学農薬栽培技術を取り入れながらも高品質安定生産を実現。  2 減化学農薬・化学肥料で栽培された農産物を取り扱う共同直売所の設立運営に寄与。地場産農産物をブランド化し、その生産・PRに尽力。都指導農業士として農業後継者の育成に貢献。
ひこ さか しげる 彦坂 茂 (72歳)	神奈川県 座間市	採卵鶏経営 (法人)	1 環境に配慮したウィンドレス鶏舎の導入とともに省力機械を導入。農場の衛生管理対策を推進し安全安心な鶏卵の生産体制を確立。加工販売や海外輸出等の販売の多角化を実現。  2 養鶏場の近代化を率先し地域農家への新技術導入に寄与。地域雇用の創出と6次産業の推進及びブランドの創出に貢献。他畜種の団体と協力して、県産畜産物のPR活動に尽力。

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
はらの <b>原野</b> ひろし <b>博</b> (69歳)	山梨県 笛吹市	ブドウ専作経営	1 コンパクトなブドウ果房の生産を徹底し、食味と果粒肥大に優れる高品質果実の出荷を実践。土壌に適した台木の選定、有望な県育成新品種の導入等により安定経営を実現。  2 県果樹園芸会会長等を歴任し、地域の果樹振興や生産者の技術向上により県内果樹農業の発展に貢献。全国果樹研究連合会副会長・ブドウ部会長として、全国の果樹産業の発展に尽力。
こばやし まさはる <b>小林 正春</b> (74歳)	長野県 南牧村	酪農経営	1 牛群検定成績を活用した乳用牛の改良に積極的に取り組み、自給飼料を活用しながら10,000kg／頭・年以上の高泌乳牛群を維持。これまで多くの乳牛に関する優秀賞を受賞。  2 自給飼料の生産・収穫作業を共同で実施する仕組みを再構築。牛群改良に熱心に取り組み、その影響は全県下に及んでいる。令和2年度乳用群検定コンクールで県最優秀農家表彰。
はた <b>畑</b> (69歳)	静岡県 牧之原市	茶・野菜作複合経営 (法人)	1 生葉出荷農家間で栽培管理手法を統一することにより、荒茶品質の向上と大手業者等との取引を確立。その後、スイートコーンやイチゴとの複合化を進め持続可能な農業経営に取り組む。  2 地域茶業経営モデル工場研究会の中心メンバーとして、地域茶業の課題解決に向けた取組みを推進。また、茶業と野菜の複合経営の先駆的モデルとなり、若手茶業者のけん引役として貢献。

(北陸地域 5名)

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
かわぐち ひろし 川口 寛 (65歳)	新潟県 柏崎市	施設野菜作 営 (個人・法人)	1 技術情報を自ら収集して地域の先駆けとなる施設園芸経営を实践。生産物は独自の販売ルートで有利に販売。中越沖地震で被災したが復興を遂げ、環境に配慮した農業を展開。  2 水稲単作地域に施設園芸を定着させ、施設栽培の優良モデルとして地域をけん引。県指導農業士会会長等を歴任し、担い手育成に貢献するとともに、農福連携にも取り組む。
さとう りょういち 佐藤 亮一 (71歳)	新潟県 長岡市	水稲・大豆・ 野菜作複合経 営	1 農地を集約し、酒米を中心に多品種を組み合わせた効率的な生産を実現。根菜類等の導入、農産加工により周年雇用体系を確立するとともに、直売所設置の中核を担い、販路拡大に貢献。  2 亮一氏は県指導農業士として新規就農者の育成に貢献したほか、各種農業組織の代表を務め地域農業に貢献。享子氏は県農村地域生活アドバイザー会長等を歴任し女性の活躍をけん引。
のむら たけお 埜村 丈雄 (76歳)	富山県 砺波市	水稲・チュー リップ球根作 複合経営	1 チューリップ球根栽培に係る省力機械の導入や鉄コーティング方式の水稲直播機の導入、冬期の労働力を有効活用したアスパラガス栽培の導入等により、合理的な経営を確立。  2 チューリップ球根専用機の開発に協力するなど、省力機械化体系の構築及び普及に貢献。地域球根組合長等を歴任し、生産者の連携を強化するとともに、切花・球根のPRに尽力。
たけもと としはる 竹本 敏晴 (72歳)	石川県 能美市	水稲・大麦・ 大豆作経営 (法人)	1 水稲大規模経営の継続・発展を目指し、農業機械化を推進。直播、JAS有機栽培等の新技術、消費者へ直接販売、後継者の計画的育成等、先進的な取組みに常に挑戦し、経営を発展。  2 地区・県域の各種団体の役職等を歴任し、地域農業の振興に貢献するとともに、農業の担い手の育成や更には河川の防災・減災対策にも取り組むなど、地域全体の活性化に貢献。

氏 名	住 所	経営の特徴	表 彰 事 由
いのうえ しげじ 井上 重治 (75歳)	福井県 南越前町	水稲・野菜・ 果樹作・加工 販売複合経営	1 低コスト化等の実現に向け水稲の湛水直播栽培や密苗技術などを導入し、改善を加えながら経営規模を拡大。更にホウレンソウや干し柿にも取り組み、多角経営のモデルを実現。  2 豪雪地帯での複合経営や後継者育成の成功事例として地域モデルの経営体を作る。農業委員や地元土地改良区の副理事長として地域の農業・農村の発展にも貢献。

(東海地域 3名)

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
村上 喜作 (69歳)	岐阜県 高山市	施設トマト専 作経営	1 選果や育苗等の作業時間の削減や規模拡大に取り組み、夏秋トマト経営を確立。土づくりやきめ細やかな栽培管理により高品質なトマトを生産。単収向上により高い農業所得率を実現。
村上 真由美 (69歳)			2 喜作氏は、野菜出荷組合の役員を歴任し、生産者の経営発展や組織活動の活性化等に尽力。真由美氏は、県女性農業経営アドバイザー、農業委員を務め地域の農業振興等に尽力。
加藤 與志和 (62歳)	愛知県 蟹江町	花き（鉢物） 作経営 (法人)	1 栄養繁殖性花きに特化した品目を拡大し繁殖技術を確立。品目に応じた栽培技術の改良により、商品性を向上。スポット品目の導入により周年出荷体制を確立
			2 全国指導農業士連絡協議会副会長、県農業経営士会長として国や県の農業振興に貢献。地域花き生産者団体のリーダーを長年務め、花きのPR・後継者育成・鉢物の輸出促進等に尽力。
裏 章弘 (64歳)	三重県 御浜町	カンキツ専作 経営	1 セミノールの大規模栽培経営で、一部を不知火に改植し品種構成を最適化。温州ミカンに新品種とマルチ栽培を導入し高品質果実の安定生産を図り、規模拡大と経営の安定を実現。
			2 JA地区部会長として、導入されて間もない温州ミカン「みえ紀南1号」の増産、単収向上等、地域の温州ミカン栽培の課題解決に尽力。県指導農業士等として新規就農者の育成に貢献。



(近畿地域 6名)

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
つつみ 堤 喜一郎 (76歳)	滋賀県 甲賀市	施設トマト・ キュウリ作経 営 (法人)	1 鉄骨造ハウスや複合環境制御システム，県開発の「少量土壌培地耕」等，先進的技術を常に地域に先駆けて導入し，経営安定と産地ブランド力の向上を実現。 2 施設野菜栽培で新技術を導入し，技術の確立と普及に貢献。町施設園芸部会の発展に尽力し，施設園芸の定着につなげた。県指導農業士として研修生の指導，新規就農者の定着に貢献。
ふじむら 藤村 幸二 (68歳)	京都府 亀岡市	野菜苗・花苗 作複合経営	1 土づくりにこだわった高品質な苗生産や販売後の丁寧なサポート体制の構築により，農業者の信頼を獲得。また，働く人に優しい労働環境づくりを進め，優良な種苗園を実現。 2 日本野菜育苗協会を設立し，優良種苗の生産技術の向上と不測の事態に備えた苗の供給体制づくりを確立。農業者の経営安定と地域農業を守る取組みを推進。
みなみ 南 やす 保次 (62歳)	大阪府 寝屋川市	水稲・イチゴ ・ブドウ作複 合経営	1 継承した大規模水稲作経営にイチゴの観光農園を導入。環境制御機器を導入し合理的な肥培管理で高品質・高収量を確保するとともに，ブドウ栽培を加え年間を通じた観光農園を確立。 2 小中高生等の食農体験や交流イベント等を通じて，都市農業についての地域住民の理解を促進。また，府「農の匠」として農業大学校生を受け入れ，担い手の育成にも尽力。
まえさわ 前澤 まさ 昌宏 (64歳)	兵庫県 三田市	水稲・黒大豆 作経営 (法人)	1 各種デジタルデータの活用やスマート農業技術等の先進技術を積極的に導入。酒米を中心とした省力的，効率的な農業経営を確立し，地域の模範的な経営を実現。 2 県農業経営士，市認定農業者連絡協議会長，地域稲作協議会長等を歴任しており，地域農業，特に土地利用型農業の中心的存在として地域農業の発展に貢献。

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
きく い しん あき 菊井 新昭 (74歳)	奈良県 下市町	果樹作・堆肥 製造販売経営 (個人・法人)	1 新昭氏は植物性堆肥を自家製造し有機農業者等に販売。ウメの有機栽培、カキ・ナシの特別栽培技術を確立。敏子氏は先駆的にカキやウメの加工品を生産・販売し、6次産業化を実践。  2 消費者の収穫・加工体験等を通じて、夫妻で環境保全型農業を積極的に情報発信。新昭氏は農福連携に取り組み、敏子氏は県指導農業士や生活グループ会長として女性活躍をけん引。
きく い とし こ 菊井 敏子 (72歳)			
やま さき しげ き 山崎 茂樹 (75歳)	和歌山県 日高川町	ウスイエンドウ・水稲作複 合経営	1 カンキツ類主体の経営から、より収益性が高い野菜等の経営に移行。地域に先駆けてウスイエンドウの施設栽培を開始し、面積を拡大し経営の中心にして経営を安定。  2 先駆的に導入したウスイエンドウについて、収集した情報や技術を地域に還元して産地化に大きく貢献。積極的に水田の貸借依頼を引き受け、耕作放棄地の発生防止にも尽力。

(中国四国地域 5名)

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
みふねしんたろう 三船進太郎 (74歳)	岡山県 真庭市	水稲・ソバ作 経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 アイガモ農法, 乗用型水田除草機, 鶏糞の活用による水稲の有機栽培を実践。水稲と養鶏に加えてソバや白大豆等を導入し, 地域のモデルとなる循環型農業を実現。</li> <li>2 地域における水稲の有機栽培の先駆者として, 技術を地域へ普及し, 有機農産物生産組合の設立等により有機栽培米の産地化に貢献。地域就農アドバイザーとして担い手育成に尽力。</li> </ol>
おがわかずお 小川和夫 (74歳)	広島県 北広島町	水稲・野菜作 複合経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 過疎化が進む集落で, 一集落一農場方式の農事組合法人を設立し, 若者を雇用して大規模稲作経営を実現。ドローン利用による省力化, 県域でのキャベツリレー出荷など安定経営を実現。</li> <li>2 集落内の耕作放棄地の発生を防止し, 若者の雇用により地域の活性化に貢献。各種協議会の会長として, 新規法人設立や集落法人の経営安定化を支援。新規就農者の支援にも尽力。</li> </ol>
えびす 戎 (70歳)	徳島県 徳島市	青ネギ専作経 営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 青ネギ周年生産に取り組み, ほ場への砂の追加, 堆肥の活用等により排水性と保肥力を兼ね備えた栽培環境を維持。商標を取得。防曇フィルムによる鮮度維持など差別化販売を実現。</li> <li>2 県指導農業士として研修生の受入れ及び新規就農者の指導に尽力。作型に適した施肥技術による安定的な周年出荷の地域モデルを確立。地域ブランド野菜の知名度向上や普及拡大に貢献。</li> </ol>
つむらまさかず 津村政数 (73歳)	香川県 綾川町	施設・露地 キュウリ作経 営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 キュウリ栽培の省力化と品質向上を目的に養液土耕栽培を県下で率先して導入。施肥量, 灌水量, 収穫量のデータを普及指導員, 営農指導員と分析し, マニュアル化に貢献。</li> <li>2 地域胡瓜部会の部会長として, 研修会等を通じ栽培技術の高位平準化及び高品質化を主導。「養液土耕栽培技術研究会」の初代会長を務め, 同技術の全国への普及に尽力。</li> </ol>

氏 名	住 所	経営の特徴	表 彰 事 由
なが いち 永 市 (76歳)	まさ あき 正 明	愛媛県 西条市  酪農経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 県内で最初に稲WCSの生産に取り組み、稲WCS生産体系及び飼料給与技術を確立。自給飼料生産によるコスト低減、牛群検定事業参画、暑熱対策により効率的な酪農経営を実践。</li> <li>2 飼料生産者組織を立ち上げ、耕畜連携による稲WCSの利用、自給飼料生産拡大及び地域内堆肥利用を推進。県酪農経営者協議会副会長等を歴任し、担い手育成や地域酪農の発展に貢献。</li> </ol>

(九州・沖縄地域 9名)

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
まつき 松木 (70歳) みのる 実	福岡県 みやこ町	果樹・イチゴ 作複合経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 完熟堆肥と草生栽培により土壌浸食防止に取り組むとともに、ナシの有袋栽培、モモの黄色防蛾灯など物理的防除により農薬使用量を削減し、環境負荷低減農業を実現。</li> <li>2 農業高校や県農業大学校等の研修受入れ先となり、非農家から就農者を輩出するなど、新規就農者育成に貢献。観光農園、直売所、レストランの運営により、地域の雇用を創出。</li> </ol>
おかもと 岡本 (65歳) くにひろ 邦啓	佐賀県 佐賀市	水稲・野菜作 複合経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 中山間準高冷地域において、減農薬・減化学肥料による特別栽培米生産を先導するとともに、ドローン活用による省力化を実現。またハウレンソウの周年栽培により、収益性を向上。</li> <li>2 地域おこしイベントに創設時から34年にわたり関与し、都市農村交流を推進。就農希望者の相談対応や研修受入れにより、新規就農者の育成に貢献。地域の鳥獣害対策でも中心的に活動。</li> </ol>
やまむら 山村 (72歳) しげみ 茂巳	長崎県 平戸市	肉用牛繁殖経 営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 肉用牛繁殖経営において、省力化を図った牛舎の建築や放牧を活用した低コスト生産による安定的な経営を図るとともに、高能力な繁殖雌牛群の整備による収益性の高い繁殖経営を実現。</li> <li>2 県指導農業士として繁殖経営技術を地域の農業者に伝達。脂肪交雑基準が過去最高(当時)を記録した「勝乃幸」を産出。長崎和牛の知名度向上に大きく貢献。</li> </ol>
よしざわ 吉沢 (72歳) まさあき 政昭	熊本県 八代市	施設トマト専 作経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 暖房機の日中局所施用技術等を地域に先駆けて導入し、高収量・高品質なトマト作経営を確立。率先して整備した耐候性ハウスが台風被害を免れたため、地域での普及が加速。</li> <li>2 政昭氏は地域農業経営者協議会長、県農業経営同友会副会長を歴任し、地域の生産技術向上に尽力。すえ子氏は地域婦人会委員を務め、男女共同参画、女性の地位向上に貢献。</li> </ol>
よしざわ 吉沢すえ子 (74歳) こ			

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
やま だ まさ はる <b>山田 政晴</b> (74歳)	熊本県 西原村	酪農・加工販 売一貫経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> <li>堆肥の草地還元等により地域内循環型農業を実現。フリーストール導入や敷材改善等により乳量向上・乳質改善を実現。牛乳、アイスクリーム等加工品販売のほか農家レストランも展開。</li> <li>農業委員会会長として、担い手への農地集積、遊休農地対策等の活動を先導。農業実習生や就農希望者の受入れ、後継者のいない酪農家の継承支援等、次代の担い手の育成に貢献。</li> </ol>
かじ わら たか のり <b>梶原 隆則</b> (83歳)	大分県 玖珠町	肉用牛繁殖・ 野菜・水稲作 複合経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>キュウリ栽培において牛糞や茅等を原料とした堆肥施用、マルチ・敷き藁による防草、土壌分析に基づく施肥設計により、単収、品質ともに地区平均を大幅に上回る栽培技術を確立。</li> <li>J A玖珠町きゅうり部会長を4年間務め同地域のキュウリ栽培をけん引。J A役員を歴任し、J A九重町との合併問題に尽力。合併後も役員を務め、代表理事組合長として直売所を整備。</li> </ol>
しげ とみ たもつ <b>重富 保</b> (70歳)	宮崎県 都城市	水稲・カンショ ・ゴボウ作・ 加工販売複合 経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> <li>耕作放棄地の借入を積極的に進め約100haに規模を拡大し、スマート農業機器を導入。カンショではキュアリング施設の整備、加工やグローバルGAPの取得、輸出にも取り組む。</li> <li>農業委員等として、農地集積や区画拡大等による農地利用の向上に貢献。規模拡大時に耕作放棄地解消、集落景観保全、雇用創出等に取り組み、地域社会・経済の発展に貢献。</li> </ol>
ひがしあそうばら つとむ <b>東麻生原 勉</b> (73歳)	鹿児島県 霧島市	茶・大麦若葉 ・カンショ作 複合経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> <li>茶専作から大麦若葉を取り入れた複合経営を地域でいち早く実践。大型製茶工場の整備により大規模経営を実現するとともに、ドリンク茶専用の茶葉生産により経営の安定を実現。</li> <li>農業の多角化と付加価値向上対策を地域で先導。県内農業経営者組織の役員、町議会議員等も務め、地域農業者の交流や県内のむらづくり活動の推進、農産物産館の整備に尽力。</li> </ol>

氏 名	住 所	経営の特徴	表 彰 事 由
<small>すな がわ</small> 砂 川 <small>かん ゆう</small> 寛 裕 (70歳)	沖縄県 宮古島市	施設野菜作経 営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 夏場の暴風対策，病害対策を徹底し，野菜供給が減少する夏場の島内市場を開拓。島が地下水に頼る環境であり，減化学肥料栽培による環境保全型農業にも先導的に取り組む。</li> <li>2 寛裕氏は県指導農業士会等役員を歴任し，産地形成や担い手育成に貢献。環境保全型農業について東京農大，宮古農林高校と連携し，普及啓発。和子氏は自治会婦人会役員として活躍。</li> </ol>
<small>すな がわ</small> 砂 川 <small>かず こ</small> 和 子 (69歳)			

## 緑白綬有功章（国外） 1名

（北米加州支会 1名）

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
にし お ぎだ はる 西尾 貞春 (74歳)	Carlsbad, CA 92009 カリフォルニア州 米国	野菜作経営	1950年、福岡県出身、1982年に渡米。1987年に日本野菜を周年栽培する農園を創立。日系スーパーマーケットとホールセラーに年間供給。高品質と安定供給を目指して常に土壌や栽培方法を改善。独自の堆肥づくりやオーガニック肥料の使用により、安全安心な美味しい野菜を消費者に届けることを目指している。 農園創立以来、毎年日本からの農業研修生を受け入れている（累計35名）。



## 農業改良普及功労者

(一般社団法人 全国農業改良普及支援協会推薦)

### 緑白綬有功章 (国内) 4名

氏名	住所	表彰事由
飯田 幸彦 (67歳)	茨城県	普及及び試験研究の場において、麦類の縞萎縮病対策技術や小麦の品質改善技術の普及、水稲・野菜等の新品種育成・普及など多くの成果を上げるとともに、研究・普及・教育の三位一体を目指した県農業総合センター設立の準備・運営に携わった。また、農業革新支援センター長として農業改革新支援専門員の組織的な活動体制の構築、普及と研究の連携によるプロジェクト活動の推進等に取り組んだ。更に、国や県の研修講師、筑波大学非常勤講師として優秀な普及指導員の確保・育成に貢献した。退職後は県農業改良協会事務局長として普及情報誌の電子媒体への移行等に取り組み成果を上げている。
酒井 義広 (71歳)	岐阜県	地域づくり、地産地消、6次産業化、都市農村交流など数多くの地域に密着した普及指導活動に取り組み、特に鳥獣害対策については地域ぐるみで行う対策手順のとりまとめ、関連企業・住民と連携した鳥獣害防止柵や追い払い資材等の対策資材の開発・実証・普及に取り組み、県内のみならず全国に普及した。また、農林水産省の農作物鳥獣被害対策アドバイザーにも登録され、県内外での講演研修活動に取り組んでいる。退職後は県の鳥獣被害対策広域指導員、地元市の農業アドバイザーを務めている。また、私財を投じて地元で鳥獣被害対策を学ぶ研修場を設置し、県内外から多くの研修を受け入れている。
中村 祐司 (71歳)	三重県	生産診断に基づく栽培管理技術の普及により、伊賀米ブランド振興に貢献するとともに、県内水田の3割をカバーする「三重県型集落営農」の構築を図り、担い手を明確にし農地の集積を推進した。JICA短期専門員として国際貢献にも寄与した。また、中央農業改良普及センター副所長等として人材育成等に尽力した。更に、全国農業改良普及職員協議会会長として、普及事業のあり方検討をリードし普及事業の充実強化に尽力するとともに、東日本大震災の復興支援に取り組んだ。退職後は再任用職員、農業改良普及業務支援員として若手職員への技術指導、農業者との合意形成スキルの継承等に貢献している。
大山 純直 (72歳)	鹿児島県	長きにわたり新技術・新品種の積極的導入等により野菜農家の経営安定と野菜産地の育成に努め、メロンやカンショ・バレイショ等のブランド産地を育成した。また、専門技術員として、研究会活動の支援を通じ、品質向上や病害虫対策等の産地課題を短期間に解決するタスクフォース式普及活動の活用により県域の産地課題の解決を図り、県産イチゴの銘柄確立等に尽力した。退職後は、県農業・農村協会で農業者への技術指導や経営改善支援に携わり、現在は、6次産業化プランナー(中央・県)として6次産業化に取り組む農業者等に対し、長年にわたる普及指導員時代の経験を生かし、総合的な支援を行っている。

## 農業技術開発功労者

(公益社団法人 農林水産・食品産業技術振興協会推薦)

### 緑白綬有功章（国内） 1名

氏名	住所	表彰事由
木野 勝敏 （64歳）	愛知県	昭和40年代には遺伝資源として維持するのみの存在となっていた名古屋コーチンについて、各系統間の遺伝的多様性を確保するとともに、遺伝パラメータの解明を図りながら、大型で、胸張りの良い肉用基礎系統を開発。更に、「濃厚でコクのある卵黄」という特徴を活かした卵用基礎系統を開発。開発された肉用基礎系統は、素材鶏に比べて体重増加が早く、卵用基礎系統は産卵率が高く、名古屋コーチンの特徴である卵殻の桜色がより濃く鮮やかになるという改良効果が得られ、名古屋コーチンの普及に大きく貢献。令和5年には、肉用タイプで約90万羽、卵用タイプで約8万羽、その経済効果は年間約160億円と試算されるまでに生産が増加。

元 愛知県農業総合試験場畜産研究部  
部長

平成29年度（第73回）農業技術功労  
者表彰受賞

### 名誉賞状（グループ）（国内） 1団体

氏名	住所	表彰事由
日持ちと輸送性に優れた トルコギキョウ開発グループ		夏の花であるトルコギキョウは、夏から秋の切り花の生産・出荷、輸送・消費において花の日持ちが課題であり、日持ちが良く鑑賞価値のより高い品種開発が求められていた。受粉すると花の老化が進むことが報告されていたため、変形雌ずいや雄性不稔という特性を活用した品種開発により、受粉しにくく、日持ちや輸送性に優れた品種群を開発。更に、主流である八重咲タイプでも無花粉タイプの品種を開発。これら品種の開発により、日持ちが良いトルコギキョウの切花を消費者に提供できるようになり、消費拡大に大きく貢献。我が国だけではなく、ヨーロッパをはじめ世界各国において、トルコギキョウはなくてはならない花となり、令和5年の輸出金額は約10億円に達している。

株式会社サカタのタネ 研究本部課長兼三郷試験場副場長

もり かず とし  
森 一 俊  
（52歳）

佐瀬農園 代表

さ せ のぼる  
佐 瀬 昇  
（71歳）

株式会社サカタのタネ 掛川総合研究センター育種4課主席研究員

ほり うち しん こ  
堀 内 慎 吾  
（53歳）

株式会社サカタのタネ 三郷試験場研究員

にし お あきら  
西 尾 章  
（36歳）

## 本 会 功 労 者

### 紫白綬有功章（国内） 3名

氏 名	住 所	表 彰 事 由
おおいわ としや 大 岩 年 也 (80歳)	新潟県	本会に対する功績特に顕著なるを認め頭書の有功章を贈りその功労を表彰（業務活動推進）
そめ ひであき 染 英 昭 (77歳)	神奈川県	本会に対する功績特に顕著なるを認め頭書の有功章を贈りその功労を表彰（業務活動推進）
しょうげん じしんいち 生 源 寺 眞 一 (73歳)	東京都	本会に対する功績特に顕著なるを認め頭書の有功章を贈りその功労を表彰（業務活動推進）

### 紅白綬有功章（国内） 1名

氏 名	住 所	表 彰 事 由
もちづき たつや 望 月 龍 也 (72歳)	東京都	本会に対する功績顕著なるを認め頭書の有功章を贈りその功労を表彰（業務活動推進）

## 農事功労者経営類型別一覧（国内）

区分	部門	都道府県	市町村	氏名	経営の特徴	掲載頁
紫白綬		山形県	真室川町	栗田 幸太郎	生産資材生産販売・肉用牛複合経営(法人)	2
紫白綬		茨城県	坂東市	山崎 正志	水稲(主食用米・輸出米)専作経営(法人)	3
紫白綬		栃木県	真岡市	猪野 正子	イチゴ・水稲・小麦作複合経営(法人)	4
紫白綬		三重県	伊賀市	中林 正悦	肉用牛(黒毛和種)一貫経営(法人)	5
緑白綬	農産	宮城県	亘理町	齋藤 勇紀	水稲専作経営	7
緑白綬	農産	秋田県	大仙市	田村 誠市	水稲・大豆・リンドウ作経営(法人)	7
緑白綬	農産	山形県	河北町	奥山 喜男	水稲・大豆作経営(法人)	8
緑白綬	農産	埼玉県	川島町	内野 正雄	水稲・麦作経営(法人)	10
緑白綬	農産	石川県	能美市	竹本 敏晴	水稲・大麦・大豆作経営(法人)	12
緑白綬	農産	兵庫県	三田市	前澤 昌宏	水稲・黒大豆作経営(法人)	15
緑白綬	農産	岡山県	真庭市	三船 進太郎	水稲・ソバ作経営(法人)	17
緑白綬	野菜	秋田県	北秋田市	藤嶋 佐久榮	施設・露地野菜作経営(法人)	7
緑白綬	野菜	茨城県	鉾田市	須澤 幸平	施設野菜専作経営	9
緑白綬	野菜	栃木県	真岡市	野澤 隆	施設イチゴ専作経営	9
緑白綬	野菜	千葉県	香取市	菅佐原 芳夫	施設マッシュルーム専作経営(法人)	10
緑白綬	野菜	東京都	羽村市	中野 峰雄	施設・露地野菜作経営	10
緑白綬	野菜	新潟県	柏崎市	川口 寛	施設野菜作経営(個人・法人)	12
緑白綬	野菜	岐阜県	高山市	村上 喜作 村上 真由美	施設トマト専作経営	14
緑白綬	野菜	滋賀県	甲賀市	堤 喜一郎	施設トマト・キュウリ作経営(法人)	15
緑白綬	野菜	徳島県	徳島市	戎 芳郎	青ネギ専作経営	17
緑白綬	野菜	香川県	綾川町	津村 政数	施設・露地キュウリ作経営	17
緑白綬	野菜	熊本県	八代市	吉沢 政昭 吉沢 すえ子	施設トマト専作経営	19
緑白綬	野菜	沖縄県	宮古島市	砂川 寛裕 砂川 和子	施設野菜作経営	21
緑白綬	果樹	岩手県	奥州市	岩淵 壽子 岩淵 勝治	リンゴ専作経営	6
緑白綬	果樹	山梨県	笛吹市	原野 博	ブドウ専作経営	11
緑白綬	果樹	三重県	御浜町	裏 章弘	カンキツ専作経営	14
緑白綬	果樹	奈良県	下市町	菊井 新昭 菊井 敏子	果樹作・堆肥製造販売経営(個人・法人)	16

区分	部門	都道府県	市町村	氏名	経営の特徴	掲載頁
緑白綬	花き	福島県	南相馬市	根本 修二	花き(鉢物)作経営(法人)	8
緑白綬	花き	群馬県	前橋市	小倉 文雄 小倉 あや枝	鉢物・花苗作経営	9
緑白綬	花き	愛知県	蟹江町	加藤 與志和	花き(鉢物)作経営(法人)	14
緑白綬	畜産	神奈川県	座間市	彦坂 茂	採卵鶏経営(法人)	10
緑白綬	畜産	長野県	南牧村	小林 正春	酪農経営	11
緑白綬	畜産	愛媛県	西条市	永市 正明	酪農経営	18
緑白綬	畜産	長崎県	平戸市	山村 茂巳	肉用牛繁殖経営	19
緑白綬	畜産	熊本県	西原村	山田 政晴	酪農・加工販売一貫経営 (法人)	20
緑白綬	複合	北海道	小平町	近江 基輝	水稲・小麦・花き作複合経営 (法人)	6
緑白綬	複合	北海道	壮瞥町	長内 伸一	水稲・野菜・果樹作・加工販 売複合経営(法人)	6
緑白綬	複合	青森県	南部町	沼畑 俊一	果樹・野菜作・肉用鶏複合経 営(法人)	6
緑白綬	複合	岩手県	北上市	馬場 正行 馬場 みちえ	小ギク・カボチャ・小麦作複合 経営(法人)	7
緑白綬	複合	山形県	遊佐町	高橋 良彰	水稲・野菜作複合経営	8
緑白綬	複合	栃木県	栃木市	大塚 幸八 大塚 節子	バラ・水稲・大麦作複合経営	9
緑白綬	複合	静岡県	牧之原市	畑 勝也	茶・野菜作複合経営(法人)	11
緑白綬	複合	新潟県	長岡市	佐藤 亮一 佐藤 享子	水稲・大豆・野菜作複合経営	12
緑白綬	複合	富山県	砺波市	埜村 丈雄	水稲・チューリップ球根作複合 経営	12
緑白綬	複合	福井県	南越前町	井上 重治	水稲・野菜・果樹作・加工販 売複合経営	13
緑白綬	複合	京都府	亀岡市	藤村 幸二	野菜苗・花苗作複合経営	15
緑白綬	複合	大阪府	寝屋川市	南 保次	水稲・イチゴ・ブドウ作複合 経営	15
緑白綬	複合	和歌山県	日高川町	山崎 茂樹	ウスイエンドウ・水稲作複合 経営	16
緑白綬	複合	広島県	北広島町	小川 和夫	水稲・野菜作複合経営(法人)	17
緑白綬	複合	福岡県	みやこ町	松木 実	果樹・イチゴ作複合経営(法人)	19
緑白綬	複合	佐賀県	佐賀市	岡本 邦啓	水稲・野菜作複合経営	19
緑白綬	複合	大分県	玖珠町	梶原 隆則	肉用牛繁殖・野菜・水稲作複 合経営	20
緑白綬	複合	宮崎県	都城市	重富 保 重富 美穂子	水稲・カンショ・ゴボウ作・加 工販売複合経営(法人)	20
緑白綬	複合	鹿児島県	霧島市	東麻生原 勉	茶・大麦若葉・カンショ作複合 経営(法人)	20





公益社団法人 大日本農会

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-2-1

日土地内幸町ビル2階

電話 03-3584-6739

FAX 03-3528-8140